

令和8年度

土地改良事業計画書

事業名	地域計画実現化促進生産基盤整備事業 さんのみや どおり
地区名	産 宮 通
所在地	さぬき市大川町富田西
事業主体	さぬき市土地改良区

第1章 目的

当地区は、さぬき市の中央部の丘陵地に位置し、標高は、25m～30mの農村地帯である。農業振興地域であるが圃場条件が悪く、道路・用排水路は未整備で、営農に多大な労力を費やしている。区画整理を行い、農道、水路(パイプライン)を一体的に整備し、農地の流動化、農業生産性の向上及び農業経営の安定を図る。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

事業名	地域
地域計画実現化促進生産基盤整備事業	香川県さぬき市大川町富田西の一部

第2節 地籍

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計	備考
	市町名							
地域計画実現化促進生産基盤整備事業	さぬき市	1.4	0	0	0	0.4	1.8	

第3章 現況

第1節 気象

観測所名	高松地方気象台 S17～R3	かんがい期 6月～9月	非かんがい期 10月～5月	計又は平均	備考
平均気温(°C)		26.9(°C)	11.8(°C)	年平均 16.8(°C)	
降水量		920mm	618mm	1537mm	
最多風向		西	西南西	北	

第2節 土地状況

1. 地形・地質・土壌

本地区は、さぬき市の中央部に位置する。標高は、25m～30m丘陵地である。
地質は沖積層からなり、土壌は粒灰色低地土壌型である。

2. 土地利用の状況

事業名	土地利用別 市町名	耕地						山林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)		用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
地域計画実現化促進生産基盤整備事業	さぬき市	1.4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	1.8	
合計		1.4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	1.8	

第3節 水利状況

1. 用水状況

本地区の用水路はコンクリート水路及び土水路であり、老朽化により配水に多大なロスと労力を要する状況である。

2. 排水状況

本地区の排水路は用排水兼用部分があり、又コンクリート及び土水路であるが老朽しているため排水が十分とはいえない

第4節 道路概況

1. 道路概況

本地区の農道は幅員狭小と未整備なため、通作に支障があり耕作に多大な労力を要している。

第5節 地域農業の概況

本地区の営農状況は、水稻及び野菜であり、1戸当たり平均耕作面積は27 aと零細な規模であり、第2種兼業農家である。

第6節 地域環境の概況

さぬき市の中央部に位置し、北側には津田川、西側には爛川が流れる標高25m～30mの丘陵地である。
また、東側の農地については、県営ほ場整備が完了しており、当地域については、豊かな田園地帯を形成している。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨 本事業により区画整理を実施し、道水路を併せて一体的に整備し、中型機械の導入を容易にし農作業の省力化と農業生産性の向上を図り、用排水路を整備し農地の汎用化を図り、農業生産の拡大及び農業経営の合理化に寄与する。

2. 事業別面積

事業名 土地利用	地域計画実現化促進生産基盤整備事業										計	備考	
	水田	普通畑	牧草地	果樹園	道路	水路	その他						小計
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)				(ha)	(ha)	
区画整理	1.4	0			0.3	0.1					1.8	1.8	

1. 営農計画 区画整理の実施により農地の汎用化を図り、水稻・麦はもとより、地域の特性を生かした高付加価値・高収益作物の作付を推進し、農業経営の改善に寄与する。

2. 土地利用区分

事業名	土地利 用区分	水 田	普 通 畑	牧 草 畑	果 樹 園	茶 園	そ の 他	小 計	原 野	山 林	そ の 他	計	備 考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
団体営農地 耕作条件改 善事業	現況	1.6	0					1.6			0.2	1.8	
	計画	1.4	0	0	0	0	0	1.4	0		0.4	1.8	

第3節 道路計画

1. 道路

項目 路線名等	幅(有効)×延長 (m) (m)	構造	既設道路との関係	
支線農道	4.0(3.0)×395m	砂利舗装	新設	
計	395m			

第4節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1)区画の形状

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田差 (m)	備考
50×40	1	1.4	71.4	0.3	
計		1.4	100		

(2)表土扱い

面積	表土扱い要否の理由	扱い深	土量	備考
1.4	作土の知力、換地等に対する農家の意向	15	2100	

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1 用水路

項目 名称	かんがい面積(ha)			通水量 (m ³ /s)	延長(m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	地区内	地区外	計		開渠	トンネル その他	管水路				
国方頭係	0.4	0	0.4	0.0185			203	塩ビ管	1/100~1/200	V P(RR) φ100	
ポンプ係	1	0	1	0.0185			76	塩ビ管	1/100~1/200	VU(RR) φ100	
計	1.4	0	1.4				279				

第2節 排水路

1 排水路

項目 名称	流域面積(ha)			排水量 (m ³ /s)	延長(m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	地区内	地区外	計		開渠	トンネル その他	管水路				
田辺池係			1.5	0.0660	554			二次製品 アリウム	1/60~1/800	300~400型	
計					554						

第3節 道路及び策動

1 道路

項目 路線数	路線名	幅(有効)×延長 (m) (m)	構造	付帯構造物			最急こう配 (%)	同左の延長 (m)	最小半径 (m)	備考
				名称	構造	数量				
4	1～4号道路	4.0(3.0)×395	砂利舗装	—	—	—	—	—	—	
計		395		—	—	—	—	—	—	

第4節 農用地整備施設

1 区画整理

工区名	面積(ha)	面積(ha)	整地工		表土扱い		備考
			標準区画	土量(m3)	面積(ha)	土量(m3)	
—	1.4	—	50×40	—	1.4	2,100	

第6章 付帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手予定 令和8年度

完了予定 令和9年度

第8章 環境との調和への配慮

本地区は、「田園環境マスタープラン」に基づき、自然生態系を保全しつつ、農業生産基盤の整備を計画的に実施し、優良農地の確保に努め、緑豊かな田園風景の維持に努める。

また、農村地域の生活環境の改善のため池や農業用排水路の水質保全に努める。

2・農業生産基盤の整備と自然環境の保全、自然と共生する環境創造。

・水と緑を活かしたうるおいのある生活空間の創造。

① 低騒音型重機の採用及び濁水の流出防止。(最小化)

② 仮設工の影響範囲を最小化。(最小化)

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

換地計画樹立のための基準を事業実施前に作成し、事業実施後における換地計画の樹立及び換地処分の実施を適正かつ円滑にならしめ換地計画により農地の集団化を図り、地域農業の振興、農業経営の合理化等、地域の活性化に資するものとする。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
全区	さぬき市大川町富田西	1.8

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

換地区名	地積の基準
全区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画認可の日の登記簿地積とする。 ただし、上記の日から1ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合には、その申し出のあった地積とする。（国土調査法による地籍調査済。）

2. 用途別予定地積

(単位:ha)

換地区名	用途 (取得予定者)	非農用地区域外に換地する土地											非農用地区域に換地する土地								機能交換に係る土地				一般 国 公 有 地	総 合 計						
		田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施行 地域に含める 土地(令第1条 の4()書き)			計	本事業によって 生ずる土地改良 施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途 地			異 種 目 換 地	創設非農用地				合 計	国			県	市 町 他	合 計			
						土 施 地 設 改 用 良 地	そ の 他	小 計		改 良 区	そ の 他	計			宅 地	そ の 他	計		農 業 経 営 合 理 地	化 施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上	必 要 な 施 設 用 地								公 用 ・ 公 共 用 地	施 設 用 地	宅 地 等
全区	従前の土地	1.6	0.0	0.0	0.0				1.6					1.6		0.0	0.0	0.0						0.0		0.0	0.2	0.2		1.8		
	換地	1.4	0.0	0.0	0.0				1.4			0.0		1.4		0.2	0.2	0.0							0.2		0.0	0.2	0.2		1.8	
合計	従前の土地	1.6	0.0	0.0	0.0				1.6					1.6		0.0	0.0	0.0							0.0		0.0	0.2	0.2		1.8	
	換地	1.4	0.0	0.0	0.0				1.4			0.0		1.4		0.3	0.2	0.0							0.2		0.0	0.2	0.2		1.8	

3. 農用地集団化の方針

換地区名	区分	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
			位置の選択方法	1戸当り目標団地数	区画畦畔の取扱い
全区		該当なし	換地は、各人の 従前の土地が最も 密集した位置を中 心に定める。	1戸当たりの団地 数はおおむね1団地 を目標とする。	畦畔は、配分面積に応じて移動して定めるものとする。 畦畔の設定に当たり、短辺が10m以下となるような設定はしない。 区画は道路に必ず接するようにし、また、排水路にも接するように 配慮する。

4. 非農用地換地の方法

区分 換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他
		該当なし				
計						

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 標準地よりの増減点方式

2. 清算の方法 増加額比例地積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

区分 換地区名	一時利用地の指定 予定年度	換地計画決定 予定年度	換地処分 年度	備考
全区	令和8年度	令和9年度	令和9年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

区画整理工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第54条第2項本文の規定にかかわらず換地処分を行うものとする。

第10章 事業費の総額及び内訳

区分	事業名	地域計画実現化促進生産基盤整備事業(千円)	備	考
	本工事費	47,300		
	測量試験費	5,700		
	用地買収補償費	1,000		
	換地費	8,000		
	計	62,000	10a当たり負担額	221千円

第11章 効用

事業名	項目	年総効果(便益)額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備考
	区分			
促進地域 備生計 事産画 業基実 盤現 整化	作物生産効果	2,082	3,621	
	営農経費節減効果	949	1,188	
	維持管理費節減効果	-21	66	
	国産農産物安定供給効果	46	—	
	耕作放棄地防止効果	148	—	
	地籍確定効果	41	—	
	計	3,245	4,875	

第12章 関連する事業

区分	事業名	事業主体	受益面積	事業内容
	該当なし			

第13章 現況・計画平面図

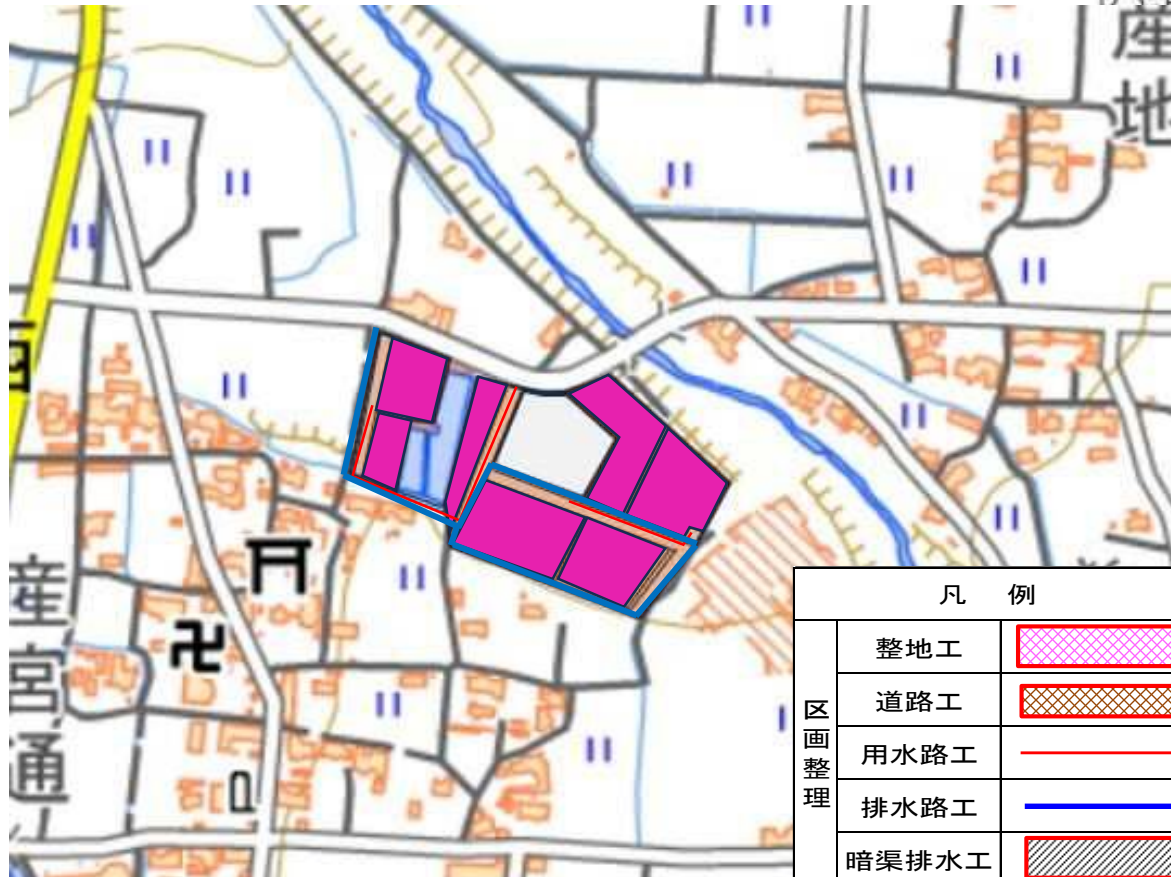
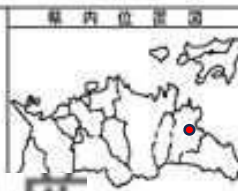
1. 現況平面図 別紙添付
2. 計画平面図及び土地利用計画図 別紙添付
3. 主要構造図 別紙添付

地域計画実現化促進生産基盤整備事業 産宮通地区 位置図



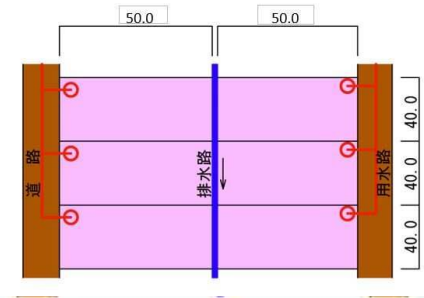
計画概要図

産宮通地区 地域計画実現化促進生産基盤整備事業



凡 例		
区画整理	整地工	
	道路工	
	用水路工	
	排水路工	
	暗渠排水工	

標準区画割図



標準断面図

